

やすらぎ荘研修会

「歩行の秘密-進化のプロセスから見た四肢の成り立ちと移動について」

講師：澤口 裕二 先生

医師

日本キネステティック普及協会学術担当理事

元土別市立病院療養診療科診療部長

褥瘡学会北海道地方会 元世話人

進化学会会員

日本ロボット学会会員



日時：2019年6月22日 9:00～16:00 (8:30～受付開始)

6月23日 9:00～16:00 (8:30～受付開始)

会場：介護老人保健施設やすらぎ荘 機能訓練室

参加対象者：PT、OT、ST

定員：25名程度（両日参加者優先させていただきますが、1日のみの参加希望の場合ご相談ください）

参加費：10000円

懇親会：6月22日（土）18:30頃より徳島市内で懇親会を予定しております

参加費は5000円程度です。

募集期限：平成30年6月1日まで

準備物：実技がありますので、動きやすい服装でお願いします（更衣室はございません）。

上履きは必要ありません。

〈申し込み方法〉

①氏名②職種③所属先④連絡先（電話、メールアドレス）⑤懇親会参加の有無を記入し、件名をやすらぎ荘澤口先生研修会参加希望」として下記のメールアドレスまでお申し込みください。

〈問い合わせ先〉

介護老人保健施設やすらぎ荘 機能訓練部 作業療法士 岩崎泰治

〒776-0013 徳島県吉野川市鴨島町上下島495番5

介護老人保健施設やすらぎ荘 機能訓練部

TEL：0883-24-6564 FAX：088-698-9988

E-mail：yasuragi-reha@mima-gr.jp

【先生からのコメント】

ヒトにもネズミにも鎖骨があるのにウマにはなく、猫には痕跡程度です。
なぜなのでしょう。

それはヒトの上肢の使い方にはどんな意味を持つのでしょうか？

モデルが歩くときには一本線の上を歩くと言われます。

それが「正しい歩き方」なのでしょう？

滑る路面の上ではペンギン歩きが良いと言われます。

では、ペンギンは氷の上で滑るからあのように歩いているのでしょうか？

反対側の手と足が同時に前に出ると言われますが、本当でしょうか？

なぜ、そう見えるのでしょうか？

今までのリハビリテーション学の歩行や移動の指導を患者さんは理解できるのでしょうか？

理解できない指導をしていながら、「患者の〇〇(筋力、機能、やる気)がないから」と言っているのではないのでしょうか？

患者さんが患者さん自身の動き方、考え方を変えることで、機能が改善するように、リハビリテーション関係者も自分の大切にしてきた「教えられたこと」を変えることで、リハビリテーションの効果が向上するかもしれません

正しいことは教えませんが、あなたが応用できるかもしれない進化発生学からのヒントを提供します。

あなた自身の体を動かして進化発生学の応用として、歩行と移動を楽しんでみませんか？

【主な著書】

